

「第4回世界子ども将棋団体戦」実施要項

2026年5月1日改訂

(はじめに)

将棋を世界に広める会 (ISPS) は、2026年に「第4回世界子ども将棋団体戦」を開催する。2023年に開催した第1回大会は、東北アジア・東南アジア・オセアニアが対象、2024年に開催した第2回大会は、ヨーロッパ・アフリカが対象、第3回大会は、北米、中南米を対象であった。2026年の第4回大会は、アジア・オセアニアを対象とする。大会名称を「都市対抗世界子ども将棋団体戦」から「世界子ども将棋団体戦」に変更する。

1. 主催等

大会名称：「第4回世界子ども将棋団体戦」

主催：NPO法人「将棋を世界に広める会」(ISPS)

後援(申請中)：公益社団法人日本将棋連盟、日本国外務省

協力：日本将棋連盟海外支部

特別協賛：全日本空輸株式会社

会場：各国における都市予選は、各都市に一任する。決勝トーナメントは準決勝までオンラインにて実施。決勝戦の会場は東京。

2. 開催日程(予定)

実施要項の公表：2026年5月11日

参加都市毎の予選の実施：～6月30日

決勝トーナメント参加申込：5月11日～6月30日

決勝トーナメントの実施：7月1日～8月31日

決勝戦の準備：9月1日～

決勝戦の実施：2026年11月(未定)

3. 参加都市毎の予選、決勝トーナメントについて

(参加都市毎の予選)

原則として、決勝トーナメントに進むのは同一都市から2チームまでとする。予選については、基本的に各都市に実施を委任するが、各都市間で予選大会実施に際し調整必要な事項が生じる場合は、主催者が、各都市と協力して、解決にあたるものとする。

調整困難な事項が生じた場合は、最終的な判断は、ISPSが下すものとする。

(決勝トーナメント)

決勝トーナメントの日程、組み合わせ抽選は主催者が実施する。

決勝トーナメントは、都市予選を勝ち抜いた4~16のチームにてオンラインによる方式で実施する。

4~16チームの選出方法については、都市予選応募チーム数が確定した時点で、必要に応じて各都市のチームと相談の上、都市予選の応募チーム数を考慮し、ISPSが決定する。

参加申し込みは、ISPSのHPを通じて行うものとする。チーム名、責任者名、チームメンバー3名の氏名、連絡先等の詳細を主催者のHPに設けた申し込み欄を通じてメールにて主催者に連絡するものとする。

4. 参加資格

日本国外に在住の子供であること。参加者の年齢は2026年11月1日時点で、15歳以下とする。ISPSは外国の子供たちが将棋に親しむことを願っており、参加者は、外国籍を有することが望ましいが、全員が日本国籍のみを有する子供のチームの参加を認める。

大会に参加するチームについては、例外的に同一国内の複数都市による混成チームを認めるものとする。(例：ベトナム国内の都市である、ハノイ、ホーチミン他との混合チームは例外的に認められる)

各チームには、英語か日本語が会話可能なチームの責任者(コーチ)1名を備えることを原則とするが、ISPSが例外を認める場合がある。

決勝戦を日本で実施するので、決勝戦に参加するチームのメンバーは、日本に渡航することにつき保護者の許可を得たうえで参加することを条件とする。

5. 参加都市

第4回大会については、アジア、オセアニアを対象として実施する。

6. 決勝戦参加チーム

決勝戦に残った2チーム(各責任者1名及び各メンバー3名)を日本に招待する。

決勝戦はISPSが定める場所にて実施する。

ISPS は、協賛航空会社が提供する航空券を現物支給するが、利用できる航空路線に制約が生じる可能性があるため、そのような場合は発生する渡航費用の一部を一定の割合で補助するものとする。

一例として、東京と北京間の航空券は提供可能だが、協賛航空会社はモンゴルには就航していないため、最寄り空港（ウランバートル）より北京まで移動時に発生する渡航費用の一部を一定割合で主催者が負担する。補助額については別途連絡するものとする。

日本での宿泊は ISPS が手配し、予め想定した金額の滞在費を支給するが、支給額を超える額については、各自負担とする。滞在中の観光費用、医療費用、国内移動費用は、各自負担とする。

招聘された 2 チームの責任者、メンバー 3 名は、速やかに訪日招聘に必要なデータ（パスポートの写しを含む）を ISPS まで連絡するものとする。

日本滞在期間中は、主催者は誠意をもって被招聘者を接遇するが、滞在期間中の事故、傷病、その他トラブルについて、ISPS は一切の責任を免れるものとする。

7. 競技方法

7. 1. 決勝トーナメントは準決勝までオンラインで実施する。決勝戦は、対面で行う予定。

7. 2. 決勝トーナメントの詳細は、実施 2 週間前までに各チーム責任者にメールで連絡する。

7. 3. 決勝トーナメントの基本形式は下記の通り。

- 1) 81 道場のプラットフォームと Zoom を併用しオンラインで行う。Zoom の適用が難しい場合は、各チームの責任者と協議し適正な通信システムを採用するものとする。
- 2) 81 道場のプラットフォームを利用し、不正防止のため Zoom によるモニタリングを ISPS が主催者として実施する。対局に必要なオンライン、Zoom 環境は、参加者が準備する。
- 3) 決勝トーナメントの運営は、各チームの責任者と相談の下、ISPS が行う。問題発生時は、ISPS が最終決定を下す。
- 4) 参加費は、無料とする。幅広くチーム数を集めるため、チーム編成については、柔軟に対応する。
- 5) 3 名の団体戦とする。決勝大会期間中のチームメンバーは、同一メンバーとする。
- 6) 席順は、固定ではなく、毎回、席順の入れ替えは可能とする。対局開始は、原則として三局同時に行うものとする。
- 7) 対局は総平手戦とする。
- 8) 先手後手は、81Dojo がランダムに設定する。
- 9) 持ち時間は、各自 15 分。これが切れたら 1 手 30 秒の秒読みとする。

10) 対局規定については、原則として日本将棋連盟の対局規定に従う。対局規定の詳細については、別途公表する。

11) ソフト等を使用した不正対局が行われないよう、対戦時には、ISPSの理事（複数名）が原則としてモニタリングする。

8. 表彰

本大会の優勝、準優勝、3位（2チーム）のチームには、賞状（各1）、記念品（各3）、を贈呈する。賞品の詳細は、別途発表する。

9. 大会役員等

大会役員は、別途定めるものとする。